

模試と同傾向の出題 ～ベネッセ・駿台模試より～

国語	
センター試験・第1問 問6 (ii)	第1回ベネッセ・駿台マーク模試・第1問 問6 (ii)
<p>(ii) この文章の構成に関する説明として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 11。</p> <p>① ② 段落では、レジリエンスについて他者の言葉で読者にイメージをつかませ、③ 段落では、筆者の言葉で意味を明確にしてこの概念を導入している。</p> <p>② ⑤ 段落と⑥ 段落では、③ 段落までに導入したレジリエンスという概念と、類似する他の概念との違いを詳しく説明し、レジリエンスについての説明を補足している。</p> <p>③ ④ 段落、⑦ 段落、⑪ 段落では、時系列順にそれぞれの時代でどのようにレジリエンスという概念が拡大してきたかを紹介している。</p> <p>④ ⑬ 段落では、これまでの議論を踏まえ、レジリエンスという概念について一般的な理解を取り上げた後、筆者の立場から反論している。</p>	<p>(ii) この文章の構成・展開に関する説明として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 11。</p> <p>① 第① 段落から第⑨ 段落までで、人間の生がもつ一つの面について前置きの述べ、第⑩ 段落でそれと対比する形で人間の生のもう一つの面について触れることで、全体の主題となるそれ以降の論への導入としている。</p> <p>② 第⑪ 段落から第⑯ 段落で、二種類の話題を具体例として挙げつつ二つの論点について述べ、第⑰ 段落でそこまでの内容をまとめて、第⑳ 段落の問いかけに対する答えを提示している。</p> <p>③ 第⑱ 段落は、前段落までで論じられた内容を確認したうえで、ここから後で主として取り上げられる話題につながるはたらきをしている。</p> <p>④ 第⑲ 段落と第㉑ 段落で述べたことについて、第㉒ 段落から第㉕ 段落で具体例を挙げつつ詳しく述べ、第㉖ 段落でそれをまとめて結論づける、という展開になっている。</p>

今回のセンター試験の第1問現代文・評論 問6 (ii) では、文章の構成に関する設問が出題された。

第1回ベネッセ・駿台マーク模試の第1問現代文・評論 問6 (ii) でも、文章の構成・展開を問う設問を出題した。この設問では、各形式段落の内容を丁寧に読み取りつつも、問題文全体の論の構成や展開を俯瞰的に把握して判断する必要がある。

いずれの設問も、問題文全体の構造を意識して読み、筆者がどのように論を組み立てているのかを把握する力が求められる出題であった。